

山の辺文化会議は、2029(令和11)年2月に設立35周年を迎えます！

35周年事業は会員参加型、みんなで作る記念冊子

『天理の輝き & 今昔ものがたり』

天理の輝き：五七五(かるた)の読み句で天理の魅力を表します。
今昔ものがたり：今昔の写真とコメント、コラムで天理を語ります。

あなたも冊子の作成に、是非ご参加ください！

(冊子には、参加いただいた方々全員のお名前を掲載させていただきます)



= 参加の意向 =

氏 名：

住 所：

電話番号：

記念冊子の作成にあたり、次の内容で参加します。

次のいずれかにチェックしてください

☐ **読み句**

天理の輝き(魅力)を、五七五(かるた)の読み句にして作ります。
「あ」から「ん」までの46の「読み句」のうち、何句でもOKです。

☐ **挿し絵**

「読み句」に合った「挿し絵」を作ります。(読み句が決まれば連絡いたします)
46の「挿し絵」のうち、いくつでもOKです。

☐ **古い写真とコメント**

家にある写真と、その写真にまつわる思い出のコメントを書きます。(100字程度)
後日、スタッフがその写真と同じ場所、同じ角度で改めて撮影し、景色にまつわる
今昔ものがたりとして冊子に載せます。いくつでもOKです。

☐ **コラム**

タイトルとともに、ご自身が思う天理の輝き(魅力)をコラムとして書きます。
(200字程度) どのような内容でも、またいくつでもOKです。

※ まずは「参加の意向」を、山の辺文化講座の際に役員へお渡しください。

※ 提出期限は、令和8年7月25日までとさせていただきます。

(講座の際の提出が難しい場合は、文化センター事務局まで)

例

ふ

闊歩する
かっぽ
神の使いが
かみ
布留社では
ふるしゃ

(A)



石上神宮（いそのかみじんぐう）は、古典には「石上神宮」「石上振神宮（いそのかみふるじんぐう）」「石上坐布都御魂神社（いそのかみにますふつのみたまじんじゃ）」等と記され、その他「石上神社」「布留社（ふるしゃ）」とも呼ばれていました。

境内にいるニワトリは石上神宮の一番の人気者です。現在約30羽が参道をはじめ境内の各所にいます。長鳴鶏の一種の東天紅、烏骨鶏などが棲んでいます。

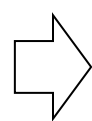
今から40年程前に奉納され、以後時々の奉納や自然繁殖、時にはイタチ、タヌキ、テンなどの小動物による被害を受け、羽数は増減しますが、大きく変わることはありません。そのため鶏たちは夕方暗くなる前に低い木から順々に高い枝に飛び上がり、そこで一夜を過ごしています。烏骨鶏やレグホンは高く飛び上がることができず、専用の鶏舎にて夜を過ごします。

ニワトリはすでに『古事記』『日本書紀』に登場し、暁に時を告げる鳥として、神聖視され、神様のお使いともされています。

広い境内で自由にいろいろな物を啄みながら生息しており、神職さんも玄米をはじめ野菜などを与えています。また、毎年秋の新米の収穫が終わった後には、氏子・崇敬者の方々によりニワトリの飼料にしてくださいと、玄米が持ち込まれます。

おじいちゃんと一緒にお孫さんが楽しそうにエサを与えている姿はなんとも微笑ましい光景です。
(石上神宮ホームページ参照) (F)

天理・今昔ものがたり



天理本通り（昭和41年頃撮影）

本通りの姿も変わってきたなあ。天理教の80年祭の頃は本当に賑やかだった。この通りは元々は石上神宮の参道で、上街道と交差するところには石燈籠と社号碑があったんだ。学校へ行く時も目にし、よく走り回っていたもんです。
(J)

コラム

大仏さんと鹿さん

奈良への観光といえば大仏さんと鹿さん。それだけで奈良へ行ったという人が結構いらっしゃいます。え〜、ちょっと待った！それではあまりにももったいない。

奈良公園で鹿さんと戯れたなら、少しだけ足を延ばして、石上神宮の境内を闊歩する鶏さんにも是非会いにきてください。

鹿さんも神の使い、鶏さんも神の使い、それぞれが自由気ままに歩き回っている。なんて穏やかで素敵な光景なんでしょう。

(M)

記念冊子の作成にあたって

【読み句】

「あ」から「ん」までの46句と限られていますので、天理市内のバランスも考慮して調整する必要があります。次の題材を参考に作成ください。

	題 材
中部エリア	石上神宮、内山永久寺跡、夜都伎神社、山辺御県座神社、天理教神殿 天理駅前広場コフツ、本通りアーケード商店街、天理大学、天理参考館 なら歴史芸術文化村、天理座、桃尾の滝、いちょう並木、天理ダム 西山古墳、布留遺跡、天理砂岩、ふるまつり、八日恵美須祭、鬼打ち 天理教お節会、こどもおちばがえり、神具、三島のり、馬魚(ワタカ) あから頭、石上宅嗣、中山正善
北部エリア	和爾下神社、在原神社、檜神社、かぼちゃ薬師、馬出し、白川ダム 赤土山古墳、東大寺山古墳、歌塚、祇園祭、はにわ祭、櫟の木と天狗 在原業平、柿本人麻呂
南部エリア	大和神社、伊射奈岐神社、長岳寺、専行院、白堤神社、柳本藩 龍王山城跡、萱生・竹之内環濠集落、崇神陵、景行陵、黒塚古墳 龍王山古墳群、朝日観音堂、ちゃんちゃん祭、紅しで踊り、柳灯会 刀根早生柿、じゃんじゃん火、織田長益(有楽斎)、十市遠忠
西部エリア	二階堂、巨樹(ラクショウ)、ふすまの引手、天理軽便鉄道、大和川 京奈和自動車道
東部エリア	氷室神社、下之坊、西念寺、婆羅門杉、索道跡、塔の森、虫送り、献氷祭 さる祭り、八ツ岩、山田道安
その他	山の辺の道、上ツ道(上街道)、中ツ道、下ツ道、都祁山之道、七曲り道 高瀬街道、業平道、野球、柔道、ラグビー、音楽

【挿し絵】

「読み句」が決まれば連絡させていただきますので、「読み句」にあった「挿し絵」を作成ください。（絵のサイズは、はがき横の大きさです）
スケッチ、水彩、油絵、色鉛筆なんでもOKです。

【古い写真とコメント】

家にある写真と、その写真にまつわる思い出を自由に書いてください。（100字程度）
「今昔ものがたり」ですので、できれば今の景色とは違う古い景色とエピソードを。

【コラム】

タイトルとともに、ご自身が思う天理の輝き(魅力)を自由に書いてください。（200字程度）

- ※ 「読み句」に多数の提出があったり、重複する内容があった場合などは、後日、調整させていただきます。
- ※ 「読み句」に合わせた説明文は、役員の方で作らせていただきます。

※ 提出いただく原稿や写真は、山の辺文化講座の際に役員へお渡しください。

35周年記念冊子作成の原稿（提出用）

氏名(ふりがな)	:	
住所	:	
電話番号	:	

次のいずれかにチェックしてください

☐ **読み句（基本的に五七五）**

☐ **挿し絵**
※ 別の用紙をお願いします。（絵のサイズは、はがき横の大きさです）

☐ **古い写真とコメント（100字程度）**
※ コメントは、この欄に記入いただいても別の用紙でも結構です。

☐ **コラム（200字程度）**
※ この欄に記入いただいても別の用紙でも結構です。

タイトル :

※ 提出いただく原稿や写真は、山の辺文化講座の際に役員へお渡しください。
※ 重複する内容があった場合などは、後日、調整させていただきます。